

科目名称 (Course Title)			担当教員(Instructor)		
子ども政策論			足立 まり子		
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2単位	1年次	講義	無	
授業の概要 (Course Description)					
<p>過去に前例のない少子高齢化社会の到来、経済不安定、児童虐待、高齢者介護、障害者自立支援、子ども家庭福祉問題、就労・生活保護等、日本の社会福祉政策に大きな影響を与え、福祉の課題が多岐にわたっている。どの課題をとっても私たちの日常生活に何らかの関わりを持っている。私たちが安心して毎日を生活して行くためには、社会福祉について理解し、活用する必要がある。本講義では、第三者的に学習に取り込むのではなく、自身の生活に関連付けて考えられるように解りやすい説明を行う。又、社会福祉が人としての生き方にも密接に関連するものであることを実感してもらうようにビデオ学習を取り入れながら行う。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>1・社会福祉の課題・問題点、理念や仕組みが理解できる。2・自分達の生活に必要な様々な社会制度やサービスの仕組みが理解できる。3・社会福祉が人としての生き方に深く関わるものであることが実感でき、その在り方が考えられる。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方、学習の進め方、注意事項など			
第 2 回	社会福祉の基礎概念	社会福祉の考え方、人権・権利など			
第 3 回	社会福祉を取り巻く状況	少子高齢化社会、現状と問題点など			
第 4 回	社会福祉の歴史と展開	日本と世界の社会福祉の歴史など			
第 5 回	社会福祉の仕組みと運営	社会福祉の法律、社会福祉サービスなど			
第 6 回	社会福祉の機関と制度	厚生労働省をはじめとする関連機関等			
第 7 回	社会福祉の援助と方法	ソーシャルワーク、ケースワークなど			
第 8 回	社会保障の機能	社会保障とは何か、公的年金制度、医療保険など			
第 9 回	公的扶助	生活保護の実施体制、生活保護の種類・内容			
第 10 回	子ども家庭福祉	子ども家庭福祉の考え方、児童福祉法など			
第 11 回	子ども家庭福祉	児童虐待、ビデオ学習 ひとり親家庭など			
第 12 回	高齢者福祉	介護保険制度の仕組みとサービスなど			
第 13 回	障害者福祉	基本理念、自立支援、支援サービスなど			
第 14 回	地域福祉	地域福祉の理念、ボランティア、NPOなど			
第 15 回	社会福祉の課題	まとめ	振り返り		
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>①前回の授業の振り返りを実施するので、復習しておくこと。②社会福祉に関する法律や制度など複雑であるため用語や単語をよく調べておくこと。③配布資料などは整理しておくこと。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
期末試験 小レポート 授業態度	(60%) (20%) (20%)	秀：授業テーマに関する必要な知識を十分に習得できており、かつ、問題点を的確に指摘し、優れた考察がなされている 優：授業テーマに関する必要な知識を習得できており、かつ、問題点を指摘し、自分なりの考察が行えている 良：授業テーマに関しておおよその知識を習得できており、かつ問題点に気づき、自分なりの考察が行えている 可：知識の習得や問題点の気づき・考察において、最低限の水準を満たしている 不可：知識の習得、問題点の気づき・考察が不十分である
テキスト (Textbook)		【書名】 よく分かる社会福祉 【著者】 山縣文治他編 【出版社】 ミネルヴァ書房 【出版年】 2016年 第11版
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		毎講義のレジюмеの中で、適宜、参考文献を紹介する
備考 (Other Information)		3分の1以上（6回以上）の欠席は、単位不可とする
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		授業の最初に指示する